

本号のテーマ：「離すものと離してはいけないもの」

先日、子どもの学校の保護者会で、校長先生が『子育て四訓』について話をされました。

『子育て四訓』

- 一 乳児はしっかり肌を離すな
- 一 幼児は肌を離せ手を離すな
- 一 少年は手を離せ目を離すな
- 一 青年は目を離せ心を離すな

これは、教育者の方が長年の教育経験を踏まえてまとめたものです。子どもの成長段階に合わせて「離すもの」と「離してはいけないもの」があることを教えてくれます。

二十歳と十七歳の子どもを持つ私の子育ては、折り返し地点を過ぎて終盤といったところでしょうか。勿論、いくつになっても私の子どもですが、特に二十歳の子はここ数年の変化が大きく、一人の人間として自分の力で生きていく日が近づいてきているのを感じます。この『子育て四訓』をヒントに、「子ども」と「私」お互いのちょうど良い距離感を計りながら、カッコいい子離れができたらいいなと思います。

「教育委員会の動きなど」

1 スタートの季節

4月3日と4日に市内の市立小中学校24校で入学式が行われました。カラフルで大きなランドセルと、指先まで隠れてしまいそうな真新しい制服の新一年生を迎え、各学校の体育館は喜びに溢れていました。小学校では、はじめはお家の方に手をひかれ恥ずかしそ

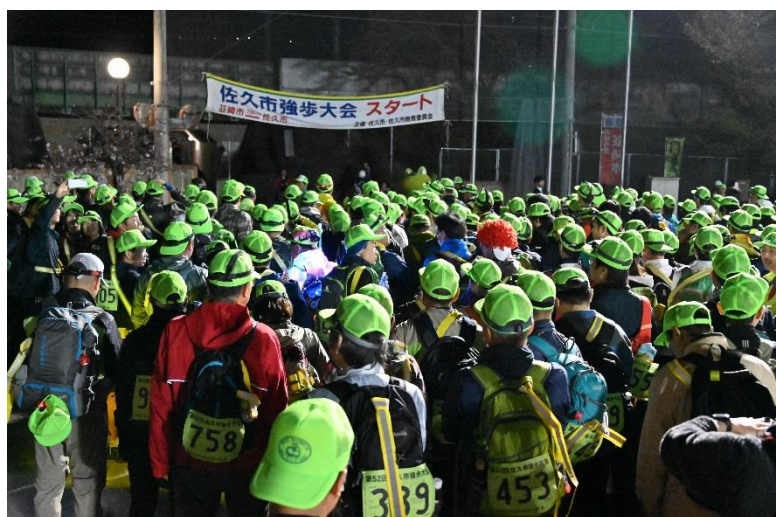


うな様子でしたが、式では担任の先生と一緒に「一年生になった〜ら、友達100人できるかな♪」と大きな声で歌いました。中学校では、話を聞く真剣なまなざしが、今後の活躍をおおいに期待できる姿でした。また、入学式に出席した在校生は、先輩として最高学年として、立派な姿勢をみせてくれました。さあ、新学年のスタートです！失敗を恐れずたくさんの方に挑戦して、心も体も大きく成長して欲しいと願います。

さて、家庭では子どものために何が必要で、何ができるのでしょうか。成長とともに行動範囲が広がり、子ども達だけで活動する時間も増えてきます。『自分の身を守るため、事件事故にあわないための知識や、危険を回避する力を身につけさせる』このことは大切なことです。多くは日常の家庭生活や体験の中で、少しずつ身につけることができます。しかし、教えられないものもあるかもしれません。私にとってはSNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）もそのひとつです。ライン離れ？チャット？流れが速くて、覚えた頃にはもうそれは古いものに……。与えるからには子どもと一緒に学ぶ必要があります。火事や事故のときの対処法は、地域の防災訓練と一緒に参加して、専門の方の話を聞き体験することで多くの事を学ぶことができますね。また、私が子どものためにできることとして大切にしているのは『ご飯を作ること』です。「毎日」とか「美味しい」とか付けたいのですが、そうするとハードルが上がってしまうので、シンプルに『ご飯を作ること』です。朝ごはんを作って、行ってらっしゃいと送り出し、お帰りなさいと夕食を囲む、当たり前のことですがそこだけは大切にしています。それぞれの家庭で成長にあわせて、今、子どものために何が必要で何ができるかを考え、思いを寄せることを大切にしたいです。

2 桜咲く強歩大会

桜が美しく咲き誇る中、「第52回佐久市強歩大会」が4月20日から21日にかけて行われました。蕪崎市から佐久市まで、スタッフや地域の皆さんの温かい声援の中、歩く距離は78km！1,047名の選手が参加し、838名がみごと踏破されました。一番早くゴールした選手の記録は7時間55分9秒、最後にゴールした選手の記録は17時間56分24秒でした。親子や仲間とゴール、笑顔でゴール、涙でゴール、皆さんキラキラ輝いていました。そして残念ながらゴールはできなかったけれど、気力・体力の限界に挑戦をした選手の皆さんを心から尊敬します！



この大会は順位を競うのではなく、ゴールした選手全員に「踏破証」をさしあげ表彰します。競歩ではなく、強歩大会です。連続で5回、10回と踏破されるとトロフィーが贈られます。今回の大会では35回連続踏破の記録がかかっている選手がいらっしゃいましたが、残念ながらリタイヤされ記録更新とはなりませんでしたが、34回連続踏破の素晴らしい記録に、敬意を表する声がたくさん聞かれました。

この52回続く佐久市の強歩大会は、たくさんのスタッフが支え、選手一人ひとりを歓迎し応援する素晴らしい大会です。「また来年も待ってるからねー」「元気でねー」と手を振りあう姿に、また今年も胸が熱くなりました。

